



今年度も保護者や学校関係者の皆様には様々な場面で学校運営にお力添えをいただき、誠にありがとうございました。今月のみらい通信では管理運営委員会からのお知らせに加え、卒業生特集を掲載しています。どうぞ最後までお目通しください。



2021 年度青い封筒キャンペーンのご報告とお礼（財務部）

今回のキャンペーンでは、105名の保護者・日本語学校関係者より、総額\$11,102の寄付をいただきました。昨年度の実績(120名より、\$14,163の寄付)を下回りましたが、予算の目標額を上回る寄付額となりました。皆様に心より感謝いたします。

寄付額の内訳は、IMF のマッチング制度を利用した寄付が\$6,342、PayPal および Venmo を通じた寄付がそれぞれ\$3,065 と\$1,140、それに次いでプレッジ方式とチェックの送付による寄付が、それぞれ\$295 と\$260 となっています。



キャンペーンの最後を締めくくる Zoom 上でのラッフル抽選会は、2 月 26 日に開催されました。ご参加いただいた保護者の方、ありがとうございました。当選者の発表は、メールでの通知又は景品の発送をもって代えさせていただきますので、ご了承ください。

ご質問・ご意見がございましたら、財務部 (zaimu@wjls.org) までお知らせください。引き続き「皆で支え、皆で頑張る日本語学校」のため、皆様の温かいご支援をお願いいたします。



管理運営委員の募集

募集中!

ワシントン日本語学校管理運営委員会（19名の保護者代表および学校長）では、管理運営委員として学校の管理運営に携わっていただける保護者の方を探しています。学校の組織図・管理運営委員会の役割に関しては、本校ホームページ（https://www.wjls.org/aboutus/message_from_committee/）をご参照ください。少しでも興味がございましたら詳細についてご説明をさせていただきますので、管理運営委員会（uneiiinkai@wjls.org）までお気軽にご連絡ください。積極的なご参加をお待ちしております。

今後のオンライン授業の活用についてアンケートにご協力ください（教育人事部）

教育人事部では、今後のオンライン授業形式の活用に関してアンケートを行っています。2020 年度よりコロナ禍対応のためにオンライン授業を提供してきましたが、2022 年度の終日対面授業の再開に伴い、今後は運用を予定していません。2022 年 1 月 29 日には悪天候に際して試行的にオンライン授業に移行しましたが、今後も同様の措置を提供していくかどうか検討中です。

そこで、今年 1 月 8 日の降雪による休校、その後の 1 月 29 日のオンライン授業移行の経験について皆様のご意見をアンケートにてお聞かせください。また、今後どのようにオンライン授業を活用していくとよいかについても、広くご意見をうかがいたいと思っております。詳細は運営委員会からのメールでご案内しておりますので、3 月 20 日（日）までにご回答いただきますよう、ご協力をお願いいたします。



2021 年度全校アンケートご協力へのお礼（教育人事部）

2 月に実施いたしました全校アンケートには、お忙しい中、多くの皆様から回答をお寄せいただき、誠にありがとうございました。アンケート結果につきましては、とりまとめが完了次第、本校ウェブサイトに掲載し、運営委員会からのメールでお知らせします。

なお、アンケートの自由回答欄にお寄せいただいたコメントについては公開せず、担当部署に提供して活用させていただきます。全校アンケートについてのご質問は、教育人事部（kj@wjls.org）までお寄せください。

【予告】特別総会は 4 月 30 日です

2022 年度の特別総会が 4 月 30 日（土）に開催されます。詳細が決まり次第、保護者の皆様へご連絡いたします。特別総会では新年度の運営方針をはじめ、運営委員会で活発に議論されている内容を中心に発表を行う予定です。また 2022 年度予算の審議も行います。総会は皆様のご意見やご提案をいただく貴重な機会です。ぜひご参加いただきますようお願いいたします。総会についてのご質問は、運営委員会（uneiiinkai@wjls.org）までお寄せください。

新財務部長からのご挨拶



グリフィン尚美財務部長

昨年の 12 月から野崎前財務部長の後任として財務部長を務めさせていただくことになりましたグリフィン尚美です。本校には中 3 と小 1 の 2 人の娘が在籍しており、かれこれ 10 年ほどお世話になっております。

現在はエコノミストとして国際通貨基金（IMF）に勤務し、金融資本市場局で課長補佐をしております。コロナ禍以前は長期海外出張が多く、日本語教育のサポートが困難な時期もありましたが、家族で力を合わせて何とか補習校を続けていくことができました。

この度中学部卒業を迎える長女が、意欲をもって高等部に進級したいと言ってくれたことを大変嬉しく思います。様々な苦労を経験しながらも、彼女自身が補習校で学んでいることをとても誇りに感じているようです。ここに至ることができたのも、熱心に指導してくださる先生方、多種多様な実務を担ってくださる事務局の皆様、そしてボランティアで学校運営に従事されている保護者の皆様のおかげだと深く感謝しております。

財務の業務を通じて少しでも学校運営に貢献してお返しできたらという気持ちで、この仕事をお引き受けしました。何卒よろしくお願い申し上げます。

～卒業生特集～



本校では3月19日に第63回卒業証書授与式が行われます。今年度の卒業生102名を代表し、5名の生徒が卒業にあたっての思いをつづってくれました。

いよいよ卒業!(小学部卒業生 ジェンキンス アイカ)



幼稚部から通ったワシントン日本語学校。私にとって卒業までの7年間、土曜日はいつもと違う生活を送るような気持ちになる日だった。

学校に行くのは現地校と一緒に、週末に、しかも日本語で授業を受ける。補習校に居る先生も生徒も、日本になにかしら関わりがあって不思議なつながりを感じた。コロナ禍の前は色々な行事や課外活動があり、思い出がたくさんでただけでなく、仲間意識も強くなったと思う。

卒業にあたって今思うのは、「いつもと違う」経験をする、異なる目線で物事を見ることができ、視野が広がるということ。また、何事も続けるのは大変だけど、続いたからこそ自信がついた。そんな2つの大事なことを体験し、学ぶ機会を与えてくださった先生方と両親に、そして頑張った自分にも感謝している。ありがとうワシントン日本語学校!

7日に1度の楽しい学校(小学部卒業生 田島 こはる)

私は小学5年生の2月に日本語学校に転入しました。アメリカへ引っ越してきて初めて通う現地校は、オンライン授業が続いていて、英語もさっぱりわからなくて友達もできずにさみしかったです。

そんな中、日本語学校では日本語で思いっきり話することができて、先生から教えてもらう授業がわかりやすく、友達と勉強することがこんなにも楽しいことだなんてこれまで思いもしませんでした。アメリカで生まれ育ったクラスメイトから聞く話は、髪の毛のカラーチェンジの相談や動物保護施設でのボランティア活動のことなど、日本の小学生とは違って面白いです。週に1回しかないけれど、学校に通うのが楽しみでした。

これからも日本語学校で出会った友達とずっと仲良くしていきたいと思っています。そして、中学生になっても一緒に勉強するのを楽しみにしています。



両立の意味を学んだ中学生生活(中学部卒業生 小寺 優蘭)



小学部では毎週土曜日の日本語学校が一番大事と教わり、他の予定は入れず日本語学校の勉強に集中するのが普通だと思っていた。ところが中学部に上がると事情が変わった。現地校で高校に進学し、大学進学には部活も同じくらい重要と母から通告を受けたのだ。日本語学校の授業を欠席することも何度かあり、家での予習復習が大切になった。もちろん現地校の宿題や部活の練習も同時進行だ。慣れないうちは家での勉強が不十分なままテストに挑み、悔しい点数を取ったこともあった。

しかしそこで学んだのは、スケジュール管理とバランスの取り方だった。両立とはどちらも完璧にこなすためにストレスを溜めることなく、心身の健康と両校の勉強のためのバランスを取るのだ。高等部ではさらに多くの挑戦が待ち受けていると思うが、中学生生活で学んだ「両立」術を活かして、楽しい思い出にしたい。

合唱クラブの思い出(中学部卒業生 ベイカー 輝羅)

私はこれまで9年間、毎週日本語学校に通ってきました。小さい頃は現地校の友達の誕生日会に行けず、悲しく思うこともありましたが、でも、いつも日本語学校を優先してきたおかげで、日本語学校での楽しい思い出がたくさんでき、自信を持って読み書きも含めた日本語力が向上した、と言えることを誇らしく思います。

日本語学校での楽しい思い出の一つは、合唱クラブでの活動です。2018年10月に発足した合唱クラブで毎週放課後に練習を積み重ね、新春祭りや運動会、さくら祭りなどで校歌を歌ったり、様々なパフォーマンスに参加したりする機会がありました。コロナ禍が始まってから活動は停止していますが、私が高校を卒業する前に再開することを願っています。

私が日本語学校で過ごせる期間はあと2年間と短いですが、これからも日本語力に磨きをかけつつ、友達と楽しい思い出をもっとたくさん作っていききたいと思います。



答えは、手の中に(高等部卒業生 田中 さくら)



フィラデルフィアとワシントン、2つの補習校に通った私。12年間の補習校生活がこの3月終わります。「補習校に通うことは、私にとって何のためになるのか。」と思ったことがあります。これまで、その問いに対する答えにたどり着くことはありませんでした。

しかし今、答えは私の手の中にあります。これからの私を導き、支えてくれる多くのことを、この12年間から得たのです。補習校を通じ、私は日本語での読み書きを身につけました。楽しい思い出を作り、様々な経験を積みました。人との出会いに恵まれました。日系である自分のルーツを誇りに思うようになりました。素晴らしい人々に触発され、視野が広がりました。これらを手に、日米に限らず、よりよい世界を作るよう力を尽くしていきます。補習校に感謝します。ありがとうございました。



同窓生ページ、リニューアルのお知らせ(広報部)

本校ウェブサイトの同窓生ページ(<https://www.wjls.org/WJLS-dosokai/>)がリニューアルしました。本校の卒業生が過去にさくら新聞やみらい通信に寄稿した多彩なエッセイを掲載しておりますので、ぜひご覧ください。エッセイでは本校での学校生活を振り返るとともに、本校での経験がその後の進路にどのように結びついたか、現在どのような分野で活躍しているかについても紹介されています。

また同ページにある「WJLS 同窓生登録オンラインフォーム」から登録していただいた卒業生には、学校から定期的なお知らせをお送りします。卒業後も同窓生のネットワークを維持し、つながりを深めていくことが本校の願いです。今年度の卒業生の皆様は、ぜひご登録をお願いいたします。



米国ヤマト運輸

日本へご帰国？ クロネコヤマトの選べる3つの引越プラン



ご家族でお引越は任せてらくらく！

荷造りから荷解きまで
全て任せてらくらく、
ママもご機嫌！

これで皆で
遊びに行けるよ♪

不要家財引取りや
簡易お掃除など
豊富なオプション
サービスも助かるわ～



引越 らくらく 海外パック

資材のご提供、荷造り、輸送まで全て含まれているサービスです。
お客様とお打ち合わせの上、原則取り決めたお時間帯で作業致します。
お引越の際には日本語が話せるスタッフがお伺い致します。
急なご要望にも日本語で対応いたします。
お引越後のお掃除、譲渡家具の配送も承ります。
トラッキングでお荷物の輸送状況を確認できます。
日本以外の世界中へのお引越についてもご相談ください。

お荷物の少ない方や、留学後の帰国に最適！

学生、個人、お荷物の少ない方に最適！
自分で梱包の格安引越プラン

- ◎箱やテープなどの梱包資材は弊社にてご用意致します。
- ◎荷造り・書類作成・日本での荷解きをご自身でお願いします。
- ◎手配の打ち合わせは日本語でサポート致します。
- ◎お荷物量に応じて4コースからお選び頂けます。
箱の組み合わせは自由です！
- ◎所要日数はお荷物引取り後、「単身プランSea」は、50～60日程。
「単身プランAir」は、7～10日程。
- ※どちらのプランもお客様が日本に到着後の配達となります。



単身プランSea



すぐに必要ではない
お荷物は船便で割安に



単身プランAir



必要なものを
最短の所要日数でお届け



米国ヤマト運輸 ワシントンDC支店
113 Executive Dr. Suite118, Sterling, VA 20166
Email : wasoperat@yamatoamerica.com
TEL : (703)-435-4377



日本語でお気軽に！



各サービスの詳細はウェブサイトでご覧いただけます。

www.yamatoamerica.com

委員長からの報告

桜の開花が待ち遠しい季節になりました。コロナ禍が収束せずオンライン授業継続で始まった2021年度も、早いもので残すところ2授業日です。卒園式・卒業式は実に3年ぶりの対面実施となります。本年度は日本語学校の対面授業再開を目標に保護者、教職員の皆様のご理解・ご協力を得ながら一步一步着実に前進してきました。新年度4月からも学校関係者一丸となり歩みを止めずに前に進んで参りますので、引き続きご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて3月5日に開催された月例運営委員会では、コロナ社会状況変化への対応、2022年度学校予算案、保護者お手伝い制度、今後のオンライン授業活用のあり方等に関する協議、また卒園式・卒業式・入学式に向けた準備確認が行われました。日本語学校の管理運営は保護者が主体です。学校イベントの準備・実施も、保護者の皆様の協力なしには成り立ちません。お手伝い等の募集があった際は、積極的にご協力をお願いいたします。

3月は旅立ちの季節でもあります。3年間日本語学校のためにご尽力いただいた佐藤晋一教頭先生が、任期を終えられご帰国されました。特に突然襲ったコロナ禍により日本語学校が暗中模索の中、佐藤教頭先生のご指導無しでは進むことはできませんでした。今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました！

アマゾン・スマイルをご利用ください

[アマゾン・スマイル](#)をご利用いただくと、アマゾンでお買い物をするたびに、購入金額の0.5%が自動的にアマゾン社から当校へ寄付されます。保護者の皆様にはご負担がない形で寄付ができる仕組みです。オンラインショッピングの際にはぜひアマゾン・スマイルをご利用ください。



寄付にご協力ください！



ワシントン日本語学校では随時オンラインで寄付を募っております。ご協力いただける方は、本校ウェブサイトの[「寄付概要」ページ](#)にある左の画像をクリックしてください。

委員長：	渡辺政志
副委員長：	小野龍生
総務部：	辻川扶紀（部長）・ジャコブソン彩子・瀬尾学・竹村聡子
財務部：	グリフィン尚美（部長）・牛嶋 崇
教育人事部：	ミトリック理香（部長）・青木里来・大島由美子・善治聡人・マッキソック美穂
広報部：	小寺友美（部長）・河野真弓
学年代表：	松下桂子（低学年代表）・バーラット和子（中学年代表）・片田順子（高学年代表）
